

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1997. 12

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 164

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 蓮田市中央公民館バードウォッチング教室

中島 康夫 (蓮田市)

蓮田市中央公民館が主催し、埼玉県支部が指導を依頼されているバードウォッチング教室は、平成6年度から始まって、平成8年度(平成8年11月から平成9年3月)で第3回目を迎えました。

## ■募集と定員

定員は30人で、公民館報と蓮田市広報を使って募集しますが、毎回定員をオーバーし、抽選で決めているそうです。

通常、公民館主催のこういう会は1回で終わり、次からは同好の士で会を作って続けるのが普通だそうですが、このバードウォッチングは特に続けてほしいとの要望が強いので、公民館として継続しているとの事です。

## ■日程

表1の通りの5回でした。

11月17日(日)は先ず1時間かけて、私がバードウォッチングを楽しむためのマナー、鳥の見方、図鑑の使い方、双眼鏡の使い方、黒浜沼を例にとつての自然環境についての話をし、引き続き、松井昭吾支部長が、バー

ドウォッチングの楽しみ方を話して、残り1時間、黒浜沼でバードウォッチングを体験してもらいました。

12月15日(日)から3月16日(日)までの4回は、それぞれの探鳥地にでかけました。

## ■指導に当たったのは

私と松井昭吾支部長をはじめ、桜庭勇・新堂克浩・玉井正晴・中村榮男・吉安一彦の各幹事とリーダーの佐藤さん、吉岡さん、吉田さんの計10人、交替で毎回7~8人ずつ出席しました。

## ■参加者たちは

半数が初めてで、カラスやスズメくらいしか見たことがない方や、市内に住んでいても黒浜沼は初めてという方もいて、スコープで見るモズやメジロ、シジュウカラの美しさに感嘆していました。

回を重ねるごとに各自何種かの鳥の識別ができるようになり、最終回を迎えました。

「身近にこんなに沢山野鳥がいるとは思わなかった」「じかにきれいな鳥を見ることができて、感激した」「蓮田にもこんなに豊かな自然があることを知らなかった」などという声が聞こえましたが、最終日に公民館の方で集計したアンケート結果をいただきましたので、掲載しますが、ほとんどの方が満足したとの結果が出ています。

このバードウォッチング教室をきっかけにして、今まで少なくとも数人以上が日本野鳥の会に入会しているはずです。

こうして各地の公民館主催の探鳥会などに協力することは、支部の探鳥会とはまた別の人たちに自然とふれる機会を持ってもらえる点で、重要な役割を果たすと思います。

引き続き、平成9年度は、平成9年11月から平成10年3月に開催される予定です。

## 松井昭吾支部長から一言

このバードウォッチング教室は、その土地で生まれ育った中島康夫副支部長とその地域社会との密接な連携プレイで、見事に野鳥の会としての啓蒙運動を果たしている場であると言えるでしょう。

私も最初から応援に出っていますが、実にしつくりと公民館側と協調して、多くの初心者に自然保護の思想をやんわりと実地のバードウォッチングを通して植え込んで、すでに多数の方の当支部への入会の実績をあげています。

今後いろいろな市町村から同様な依頼もあるかと思いますが、蓮田市の事例にならって、おおいに協力したいと思います。そのためにはリーダーの確保が必要不可欠です。常日ごろからどのくらいのマンパワーを動員できるかを頭において事を進めることをお勧めします。

[表1]

I…平成8年11月17日、蓮田市黒浜沼

II…平成8年12月15日、大宮市深作川

III…平成9年1月19日、蓮田市東埼玉病院

IV…平成9年2月6日、蓮田市元荒川

V…平成9年3月16日、蓮田市黒浜沼

No	種名	I	II	III	IV	V
1	カイツブリ	○	○		○	○
2	カワウ		○	○	○	○
3	ダイサギ	○	○			○
4	コサギ	○	○	○	○	○
5	アオサギ	○				○
6	マガモ	○				
7	カルガモ	○	○		○	○
8	コガモ	○	○	○	○	○
9	オナガガモ		○			○
10	ハシビロガモ	○				○
11	ホシハジロ	○				
12	キンクロハジロ	○				
13	コジュケイ			○		
14	キジ					○
15	クイナ		○			
16	バン	○	○			○
17	オオバン	○				○
18	イカルチドリ					○
19	タゲリ	○	○			
20	クサシギ		○			

No	種名	I	II	III	IV	V
21	イソシギ		○			○
22	タシギ			○		
23	ユリカモメ				○	
24	セグロカモメ				○	
25	キジバト	○	○	○	○	○
26	カワセミ					○
27	アカゲラ					○
28	コゲラ	○				○
29	ヒバリ	○	○			○
30	ハクセキレイ	○	○	○	○	○
31	セグロセキレイ	○	○	○		
32	ピンズイ			○		
33	タヒバリ		○			
34	ヒヨドリ	○	○	○	○	○
35	モズ	○	○	○	○	○
36	ジョウビタキ	○	○			
37	アカハラ					○
38	シロハラ				○	
39	ツグミ	○	○	○	○	○
40	ウグイス	○	○	○		○

No	種名	I	II	III	IV	V
41	セッカ		○			
42	ヒガラ	○				
43	シジュウカラ	○	○	○	○	○
44	メジロ	○	○	○		
45	ホオジロ	○	○	○	○	○
46	カシラダカ	○	○	○		
47	アオジ	○	○	○	○	
48	オオジュリン					○
49	カワラヒワ	○	○	○		
50	マヒワ					○
51	ウソ					○
52	シメ	○	○	○		○
53	スズメ	○	○	○	○	○
54	ムクドリ	○	○	○	○	○
55	カケス	○				○
56	オナガ	○				
57	ハシボソガラス	○	○	○	○	○
58	ハシブトガラス	○	○	○	○	○
観察種数		37	34	29	26	26
参加人数		21	22	22	9	11

[表2]

	A	B	C	D	E
問1、講座全体の感想(評価)	8	2	/	/	/
問2、思っていたとおり学習できたか	7	3	/	/	/
問3、学習は分かりやすかったか	9	1	/	/	/
問4、学習で使ったもの(資料等)	5	5	/	/	/
問5、講師や助言者の話しは	10	/	/	/	/
問6、参加しやすい日であったか	6	3	1	/	/
問7、 時間帯 "	7	2	/	1	/
問8、自宅から通いやすい場所"	7	2	1	/	/
問9、学習しやすい会場 "	6	3	/	/	/
問10、費用の面での負担感は	8	2	/	/	/
問11、新しい友達ができたか	はい…10	いい…0			
問12、楽しい雰囲気の中で学習"	9	1	/	/	/
[意見・要望…(枚数)]					

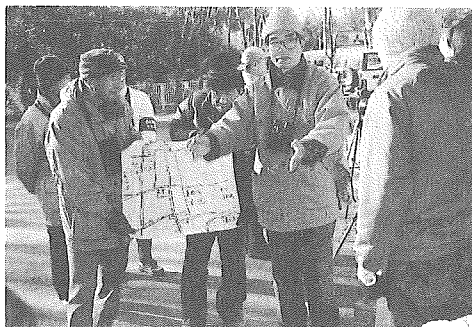
A…とても満足

B…まあ満足

C…ふつう

D…やや不満

E…とても不満



# 1997年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：1997年9月15日 9:30～11:30

場所：大久保農耕地

天候：雨

この日は台風と南岸沿いにある前線の影響で雨となりましたが、支部会員14名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された鳥類・個体数は8種276羽で、昨年の秋の大久保農耕地と比較すると種数で4種多く、個体数では269羽多くなっています。昨年は雨がほとんど降らず、田には水がついていない状態でした。しかし、今年は田に水がついていたことと、雨天のため治水橋上流のグラウンドでムナグロが203羽確認されたことが、大きな原因と思われます。

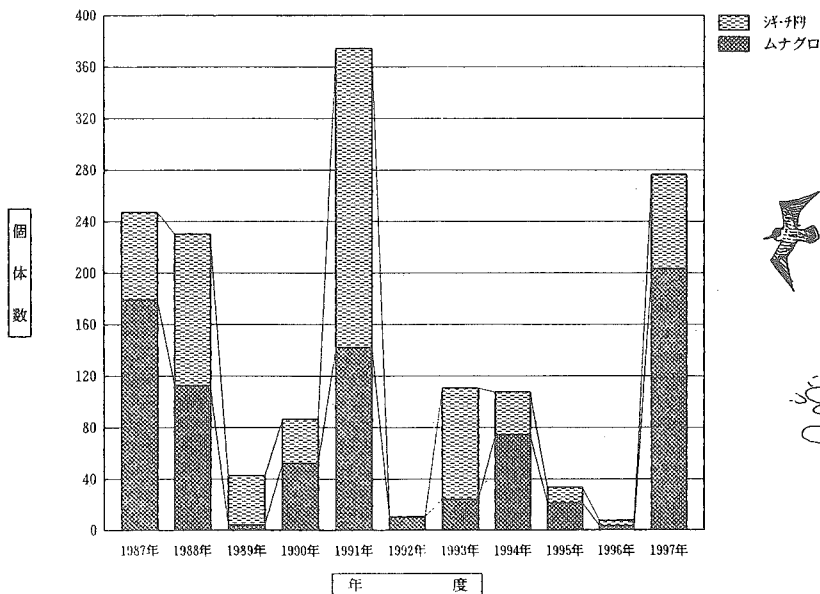
下のグラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

最後に、この調査が支部報の「行事あんない」に掲載されなかったことをお詫び致します。  
(石井 智)

1994年～1997年 秋のシギ・チドリ類調査結果

調査地	大久保農耕地 浦和市／大宮市			
	'94年	'95年	'96年	'97年
鳥類				
コチドリ	11	1	—	13
ムナグロ	74	21	3	203
エリマキシギ	—	—	—	1
クサシギ	1	—	1	—
タカブシギ	—	—	—	4
イソシギ	—	—	—	1
オオジシギ	—	—	2	—
タシギ	19	11	1	51
チドリSP.	—	—	—	1
ジシギSP.	2	—	—	1
個体数合計	108	33	7	276
種数合計	5	3	4	8

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



(富士鷹なすび)

**甦れ！里山シンポジウム**  
海老原美夫（浦和市）

11月1日（土）と2日（日）2日間、千葉県柏市と流山市を会場に、(財)日本野鳥の会主催、同千葉県支部共催、環境庁／千葉県後援の「甦れ！里山シンポジウム」が開催され、当支部からは私と海老原教子、菱沼一充、菱沼洋子の4名が代表として参加しました。

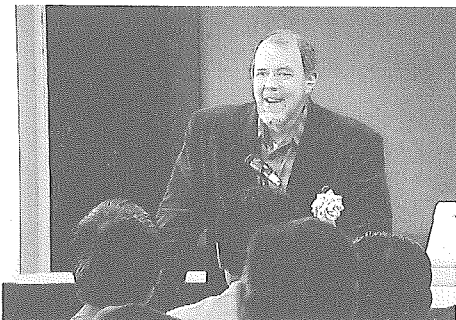
1日目の会場である柏市のちば県民プラザでは、里山NGOの各団体によるポスターセッションや写真展「千葉の里山と野鳥たち」も開催され、黒田長久会長をはじめ、たくさんの方が集まりました。当支部からは他にも武蔵丘陵森林公園の自然を考える会代表の谷津弘子さんらの姿も見えました。

ニューヨーク生まれで千葉県在住のナチュラルリスト、ケビン・ショート氏の基調講演「里山の自然とその魅力について」で幕を開けたステージセッションは、合計8団体による里山NGO事例発表、パネルディスカッションと、「これからも里山の大切さを認識し、保全に関する情報収集を行い、市民同士市民団体同士のコミュニケーションを図り、地権者の方々や行政機関とも連携して、身近な環境の砦として守り続けていく」旨のアピール文採択まで、5時間も続きました。

夜も場所を移しての交流会、オークションなどがあり、なかには3時ごろまで続いた部会？もあったとか。

2日目は、流山市の市野谷の森と江戸川周辺新川耕地の2か所で里山見学会があり、大きな成果のうちに幕を閉じました。

千葉県支部の皆さん、ご苦労様でした。



ケビン・ショート氏

**1997/1998冬「鳥の目から環境を調べよう！」**  
調査のお願い

観察期間を本年12月1日から来年1月31日として、自宅から半径50m以内で観察された鳥を、1月号に同封する調査はがきで回答する調査を継続します。

環境と鳥の環境を見る調査ですので、ドバト、セキセイインコなど、かご抜けの鳥もご記入ください。

なお、前回96/97年冬のデータは、現在集計中です。1月号又は2月号で報告します。

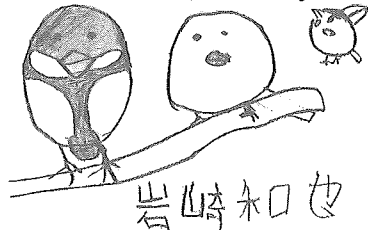
（研究部・小荷田行男）

**母心の戸隠ツアー！**  
岩崎ますみ（新座市）

今年の夏、志賀高原で長野県民の方々に、「あんた、野鳥の会に入っていて、戸隠に行っていないなんて、そりゃもぐりってもんさ」とまで言われて、あの時から私の決意は固まっていたのでした。

変わった鳥を子供に見せてやりたい。よし、私も頑張るから、二人の子供達よ、君たちもご飯が早く食べられるように頑張るたまえを合言葉に、日々の暮らしの活力にしてみました。

手元に案内が届いてからは、昨夜はマミチャジナイが鳴き、その前の夜はムシクイが、その前の夜もマヒワの群れが羽ばたき、鳥たちにうなされる夜が続きましたが、皆様のおかげで、母心はかなえられました。



ご飯の時に楽しい話をしてくれた人もいれば、あめやチョコをくれた人、手ぶくろやカップなどを貸してくれた親切な人もいて、うれしかったです。お母さんはキバシリを見ていないけど、私は見たので、それが少し自まんかな。266段の階だんは登れなかったよ。今度は登りたいと思います。（岩崎はるか）

鳥の  
観察  
情報

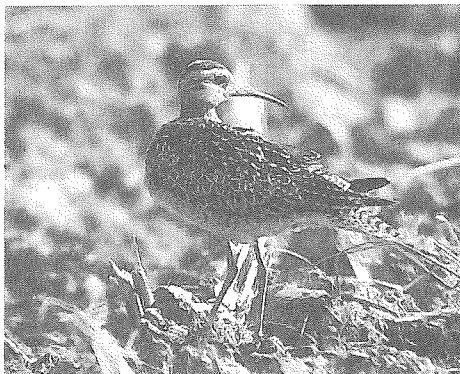
東松山市東平 ◇9月24日、長登呂沼でコガモ10数羽。今季初認。昨年より9日遅れて到着（中村豊己）。

滑川町森林公園 ◇10月2日、山田大沼付近でコサメビタキ1羽。天神沼でオシドリ♂♀各1羽（中村豊己）。

坂戸市入西調節池 ◇10月8日、クイナ2羽他にダイサギ3羽、チュウサギ2羽、コサギ8羽、アオサギ2羽、カイツブリ5羽、バン1羽、カワセミ1羽（増尾隆・節子）。

坂戸市西坂戸調節池 ◇10月8日、コガモ♀1羽。今季初認（増尾隆・節子）。

川本町荒川明戸堰上流 ◇10月10日、マガモ4羽、ハシビロガモ1羽、ハマシギ1羽、キアシシギ1羽、イソシギ2羽、ミサゴ1羽、ツミ1羽、ハイタカ1羽、トビ2羽、ノスリ2羽、ノビタキ1羽、ホオアカ1羽  
◇10月12日、ミサゴ1羽、ノスリ2羽、アオサギ5羽。ミサゴは1時間の観察中ずっと枝にとまったままだった（後藤康夫）。  
◇10月26日、コハクチョウ成鳥7羽、若鳥4羽、トビ1羽、ツバメ2羽。コハクチョウ見物の人が多く、それが原因かどうかわかりませんが、カルガモ以外のカモ類、9月より定着していたミサゴ等見当たらず（後藤康夫・喜久子）。  
◇11月3日、コハクチョウ約20羽、マガモ、コガモ、ハシビロガモ、イソシギ2羽、キアシシギ1羽、ハマシギ1羽、オオタカ2羽カラスにモビ



コシャクシギ（海老原 美夫）

ングされ、林の中へ出たり入ったりしていた。タヒバリ1羽、カシラダカ1羽（後藤康夫）。

熊谷市荒川 ◇10月10日、押切橋から熊谷大橋の間でオオバン1羽、カワセミ4羽、カシラダカ1羽今季初認（後藤康夫）。

浦和市秋ヶ瀬 ◇10月12日、ピクニックの森でエゾビタキ（渡邊光行）。◇10月22日、ピクニックの森でキビタキ♂1羽、ツツドリ1羽（新藤克浩）。

岩槻市槻ノ森公園 ◇10月17日、ジョウビタキ♀1羽。今季初認（中村榮男）。

富士見市上南畑 ◇10月18日、コシャクシギ幼鳥1羽。情報によると、10月11日初認、19～20日頃終認のようだ（海老原美夫）。

吹上町 ◇10月19日、消防学校横でジョウビタキ♀1羽。今季初認（逸見嶮）。

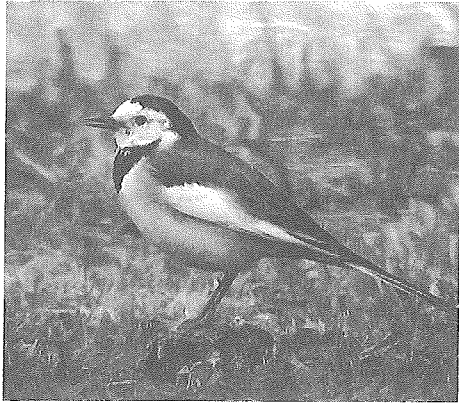
吉見町市野川 ◇10月19日、チュウサギ1羽カエルをつかまえては食べていた。イカルチドリ1羽、ムナグロ27羽、クサシギ1羽、イソシギ1羽、タシギ2羽、チョウゲンボウ1羽、（後藤康夫）。  
◇10月25日、タゲリ約23羽。田んぼ上空を2～3周して、飛び去ってしまった。  
◇11月3日、バン若鳥1羽、カワセミ3羽、ジョウビタキ♂1羽、ヒヨドリ約15羽が水辺の木から川の浅瀬にダイビングしては木に戻る。30～40分水浴びを繰り返していた（後藤康夫・喜久子）。

蓮田市黒浜 ◇10月20日、上沼でキジ♂5羽♀6羽。さかんに餌をさがしていた（中村榮男）。  
◇10月下旬から11月初め、元荒川から黒浜沼の間でカワセミ♂、イソシギ、コガモ、アオサギ12羽（道祖土修一）。  
◇11月3日、下沼東側の田んぼでシラコバト1羽。96年4月以来の観察（田中幸男）。  
◇11月9日、上沼でアオジ2羽。今季初認。カシラダカ今季初認（田中幸男）。

吉見町八丁湖 ◇10月21日、カシラダカ数羽。今期初認。ジョウビタキ♀1羽。今季初認。アカゲラ♀1羽、アオゲラ♂1羽、カワセミ1羽（中村豊己）。

戸田市彩湖 ◇10月23日、河川敷でノビタキ1羽、チョウゲンボウ1羽（島田康行）。

川口市差間 ◇10月24、25日早朝、遊水池と



ホオジロハクセキレイ (海老原 美夫)

周辺の湿地でツルシギ1羽、アオアシシギ1羽、コガモ、キンクロハジロ、ユリカモメ (新藤克宏)。

岩槻市加倉 ◇10月25日、隣家の庭の水道の上でジョウビタキ♀1羽 (藤原寛治)。

浦和市白幡沼 ◇10月25日午前9時頃、流れ出しの水場でツミ♀1羽が20分間ほどかけてゆっくりと水浴び。キセキレイ2羽が最短1m以内にまで近づいていた。背後でカワセミの声も聞こえたが、振り返っているヒマがない。他にコガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、ホシハジロの渡り組も一通りそろい、カルガモ、バン、カイツブリ、ゴイサギなどの定着組とともに賑やかになってきた (海老原美夫)。

嵐山町志賀 ◇10月30日、自宅庭でジョウビタキ♀1羽 (後藤康夫)。

嵐山町嵐山駅 ◇10月30日午前7時頃、通勤のため、ホームにいるとすぐ目の前の桜の木にアオゲラが1羽飛んできて「キョッキョ」と鳴いていた (後藤康夫)。

三郷市彦成 ◇11月8日、オオコノハズク1

羽。落鳥。頭と両足と風切羽だけが落ちていた (山部直喜)。◇ホオジロハクセキレイ1羽 (海老原美夫)。

鴻巣市登戸 ◇11月10日午前7時10分頃、自宅前でツグミの声を聞く。今季初認 (石井智)。

与野市南与野 ◇11月10日午前8時10分頃、南与野駅前の鴻沼川でカワセミ1羽 (石井智)。

— はみ出し行事案内 —

宮城県・伊豆沼探鳥会 (要予約)

期日：1月25日 (土) ~ 26日 (日)

集合：25日午前7時45分 JR大宮駅西口、出発は午前8時頃 詳細は参加者に別途通知致します。

交通：往復とも貸し切りバス利用

費用：19,000円の予定 (バス代1泊2食付き 宿泊費、懇親会費、保険料を含む) 万一過不足は当日清算。

定員：20名 (先着順・支部会員優先)

申し込み：通常はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して、中島康夫 ( ) まで。

担当：中島、櫻庭

見どころ：日の出と共に一斉に飛び立ち、日暮れと共に戻ってくる万羽のマガンの群れ、こんなに感激するシーンはそうそうありません。そのほかに猛禽類や冬の小鳥達も十分に楽しめます。積雪の中を歩きます。防寒と足ごしらえは充分にしてください。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室は用意できません。

◆JR・私鉄など12月にダイヤ改正が予定されておりますので、時刻表を確認の上お出かけください。

— 表紙の写真 —

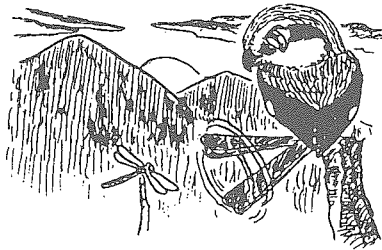
ハヤブサ (ハヤブサ科)

県南東部のある団地で、1羽のハヤブサが越冬中です。県内で人の住む団地での越冬は私は初めて目にする例です。

団地の名前もお教えしたいのですが、もし鳥見人が集まると住民たちが嫌がるでしょう

し、それがきっかけでハトの残骸が散らかっているのが分かったら、いやだわいやだわ、不潔だわ、なんていう事になると困るので、教えないんだけど、喉まで出かかっているんだけど……ううう。海老原美夫 (浦和市)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月7日（日）  
集合：午前8時30分 北本自然観察公園駐車  
場。または午前8時15分JR高崎線北本  
駅改札口、集合後タクシーで現地へ。  
リーダーの指示で分乗してください。  
担当：岡安、内藤、榎本、立岩、永野（安）、  
永野（京）、川那部、島田、大坂、高  
見どころ：梢の能舞台上でジョウビタキが大見  
栄を切ります。「ヒッカタ、ベニマシ  
コさんも出ていらっしやい。石戸宿の  
鳥達よみんな集まれ!」。友情出演も  
多数あります。屋外立見席のため寒さ  
に要注意。

## 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<見沼ヘルシーロードコース>  
期日：12月7日（日）  
集合：午前9時 浦和市くらしの博物館民家  
園駐車場、念仏橋バス停前  
交通：JR浦和駅西口バス1番乗場、大崎園芸  
植物園行き8:36発に乗車、念仏橋下車  
後援：浦和市くらしの博物館民家園  
担当：伊藤、手塚、工藤、新堂、笠原  
見どころ：ヒューヒュー吹く北風の中でも、  
タゲリやジョウビタキを見るところと思わず  
顔がほころんでしまいます。北の国から、  
山から冬の鳥達が勢ぞろいして待  
っています。

## 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月13日（土）  
集合：午前9時40分 森林公園南入り口前  
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園  
南口行き9:17発バスに乗車、終点下車  
担当：内藤、佐久間、岡安、藤掛、青山、島  
田  
費用：入園料390円（子供80円）  
見どころ：冬の森林公園探鳥会第1弾!落ち  
葉がいっぱいの森の小道で小鳥達の会  
話を聞いてみましょう。見上げる大空  
に猛禽類はいませんか。山田大沼には  
カモの仲間は何のくらくらいるかな。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月14日（日）  
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03  
発に乗車  
担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉  
崎、松本、高橋  
見どころ：いよいよ寒さが身にしみる季節と  
なりましたが、冬鳥に会える楽しみが  
あります。今年も常連のコハクチョ  
ウ、ジョウビタキ、シメ、アカゲラ、  
アオゲラさん達がきっと待っています。  
寒さに負けないで是非会いに来て  
下さい。

## 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月14日（日）



集合：午前9時10分 西武線西武球場前駅前

交通：西武狭山線西所沢8:59発に乗車

担当：長谷部、石井（幸）、小野、中村（祐）、山本、久保田

見どころ：狭山湖の堤防で工事が予定されているため、カモ類はあまり見られそうにもありません。玉湖神社やその周辺の雑木林で冬の小鳥たちとの出会いを期待しましょう。

#### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月17日（水）

集合：午前9時40分 森林公園南入り口前

交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:17発バスに乗り、終点下車

費用：入園料390円（子供80円）

担当：櫻庭、松井、中村（栄）、兼元、堀、高橋

見どころ：冬の森林公園探鳥会第2弾！ しかも平日なのだ。慌しい年末の一日、静かな園内をのんびり巡りルリビタキ、シメ、シロハラ等を探しましょう。小鳥のさえずりがきくと心身のリフレッシュになりますよ。

#### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：12月21日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼元、嶋田、森

見どころ：三室の一年の最後の鳥見となりました。振り返るとバードソンのゴールになったり、外国からのバーダーの参加もあり、楽しい一年でした。多くの参加者への感謝とともに鳥見の締めは是非三室で迎えましょう！

#### 年末講演会

期日：12月23日（火・祝）午後1時30分～4時30分（受付開始午後1時）

会場：埼玉県民活動総合センター（伊奈町）TEL048-728-7111

交通：ニューシャトル大宮12:00、または12:30発に乗り、羽貫下車。無料送迎バスに接続。またはJR上尾駅東口から伊奈学園行きバス12:56発、終点下車にて徒歩約10分（上尾駅から約35分）  
無料駐車場有り

第1部 ビデオによる「今年の出来事」

午後1時30分～2時

第2部 浦谷鶴彦講演会

午後2時～4時30分

野鳥の声や自然の音を、長年にわたり録音してこられた浦谷先生にスライドや録音テープを使いながらお話しをしていただきます。

第3部 懇親会（希望者のみ）

講演会終了後、センター1階のレストランに場所を移しての軽い立食パーティ。多数のご参加をお待ちしています。参加費4000円位。

#### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月27日（土）午後1時～2時頃

会場：支部事務局108号室

案内：今年も最後の行事が袋づめ。せわしい年の暮ですが宜しくお願いたします。

#### 浦和市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：平成10年1月3日（土・祝）

集合：午前9時30分 さぎ山記念公園駐車場

交通：大宮駅東口7番バス乗り場から中野田引き返し場行きで約20分、上野田下車。当日は正月ダイヤで1時間に3～4本運行されるはずです。

担当：海老原、松井、楠見、櫻庭、工藤、新堂

見どころ：例年サカツラガンがたくさん見られます。鳥ではありませんが。

のんびり鳥見散歩の後は、恒例鳥仲間との新年交歓会。酒類おつまみ類持参歓迎。楽しくやりましょう。

行事案内は7頁にも掲載されています。

# 行事報告



9月21日(日) 浦和市 三室地区

参加: 26人 天気: 曇一時雨

カワウ ヨシゴイ ゴイサギ ダイサギ コサギ  
アオサギ カルガモ コガモ コジュケイ バン  
イソシギ キジバト カワセミ ツバメ ハクセ  
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジ  
ュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムク  
ドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス  
(26種) カモたちが帰ってきているかと心配な9  
月の探鳥会。コガモが帰ってきていた。小雨が降  
っていたので心配したが、26名というちょうどい  
い人数の探鳥会だ。ごほうびにカワセミが久しぶ  
りに出現。それも芝川のアシの茎に長く止まって  
くれてゆったりとした時が流れて行った。

(楠見邦博)

9月23日(火、休) 寄居町 鐘撞堂山

雨のため中止。

9月28日(日) 本庄市 坂東大橋

参加: 36人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ カルガモ トビ チ  
ョウゲンボウ ハマシギ イソシギ キジバト  
カワセミ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ  
キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ  
ヨドリ モズ ノビタキ コサメビタキ シジ  
ュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムク  
ドリ カケス オナガ ハシボソガラス (28種) 川  
の増水で、フィールドは水浸し。何とかコース  
を探して歩く。それでも、カワセミ、カワウ、セ  
キレイ 3種のレギュラーやノビタキ、コサメビタ  
キなどのゲストも現われた。青空にトンボの大群。  
カワラヒワの乱舞。ススキやエノコログサ。風も  
さわやかな一日散歩だった。(町田好一郎)

9月28日(日) 狭山市 入間川

参加: 25人 天気: 晴時々曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガ  
モ コガモ オオタカ サシバ イソシギ キジ

バト ヒメアマツバメ アマツバメ カワセミ  
コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ  
ヒヨドリ モズ シジュウカラ カワラヒワ ス  
ズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス (25種)  
通常コースの右岸は工事のため通行不能。やむな  
く左岸を歩くことにした。右岸に比べ、良好な観  
察ポイントが少なく鳥探しに苦労するが、カワセ  
ミやダイサギ、初記録のアマツバメなどが見られ  
た。(長谷部謙二)

10月4日(土) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加: 34人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ  
カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハ  
シビロガモ キンクロハジロ トビ ノスリ ツ  
ルシギ アオアシシギ ユリカモメ コアジサシ  
シラコバト キジバト ヒバリ ショウドウツバ  
メ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ  
ヨドリ モズ オオヨシキリ ホオジロ スズメ  
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (32  
種) 久しぶりに中央エントランスから湖畔の東の  
道約6kmを谷中村跡まで歩いた。3日前の下見の  
時と様変わり。湖面にはカモ類が浮かび、期待し  
なかった鳥を見ることができ、終わってみれば32  
種。事故もなく無事終了。(新堂克浩)

10月5日(日) 北本市 石戸宿

参加: 39人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ マガ  
モ カルガモ コガモ ツミ ノスリ サシバ  
コジュケイ キジ バン キジバト ホトトギス  
sp カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ ヒ  
バリ ショウドウツバメ ツバメ イワツバメ  
ヒヨドリ モズ ウグイス エゾビタキ コサメ  
ビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワ  
ラヒワ スズメ カケス オナガ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス (37種) 次々に到着する参加  
者を早朝からアオゲラ (2羽)、アカゲラ、エゾ  
ビタキがお出迎え。駐車場は大フィーバーとなっ

た。荒川河川敷は、サシバ、ノスリ、ショウドウツバメとイワツバメの群れ、それにカケスとヒヨドリの群れも加わってにぎわいを見せた。最後に、別れを惜しむサシバが再度出現。“秋の渡り”を満喫した最良の一日だった。(岡安征也)

10月5日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 48人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ トビ チョウゲンボウ バン キジバト ツツドリ カワセミ ヒバリ ショウドウツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(30種) 雨のち快晴。秋空に見沼では珍しいトビが舞っていた。お目当てのノビタキに会えなかったのが残念だったが、サギ類は5種確認。早くも冬鳥のカモが調節池で羽を休めていた。大きな池が3つ出来て訪れるたびに環境が変わる差間コース。これからどう変わっていくのか。一番心配なのは森林火災が続く南の越冬地。夏鳥たちは無事に戻ってきてくれるだろうか。(手塚正義)

10月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 48人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ ノスリ バン キジバト ツツドリ カワセミ アカゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(29種) 今回はノビタキを探して、ゴルフ場南側のススキ野を歩いた。残念ながらノビタキ君のお出ましはなかったが、ダイサギが大きなナマズをつかまえて飲み込むのに苦労しているところ、間近で見られたアオサギ、カワウの大集団が乱舞からV字体形に移行するところ等、あまり見られないものが見られて、皆よろこんでいた。(和田康男)

10月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 14人

荒木恒夫、岩上照代、江浪功、海老原教子、倉林宗太郎、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、田中久美子、中村榮男、藤野富代、増尾隆、松村禎

夫、山口静江

10月26日(日) さきたま古墳公園

参加: 55人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ オオタカ チョウゲンボウ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(28種) 天気予報どおり、若干寒さを感じる朝のスタート。日が昇るに従って気温も上がり暑くなったところにチョウゲンボウの登場。その後に30数羽のカケスにモビングされてオオタカ。空中戦をじっくりと全員が観察。なかなかの迫力。古墳の池でカモを見ていると、ジョウビタキの♂♀。続いてカワセミが出現して彩りを添えてくれた。暖かい日が続いたためか冬の小鳥はこれからというところ。(内藤義雄)

11月1日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 33人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ ハイタカ キジ タゲリ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 冬鳥はまだ数が少なかった。しかし、カワセミがよく現われて皆を喜ばせた。(櫻庭 勇)

11月8日(土) 栃木県 奥日光

参加: 66人 天気: 晴

マガモ コガモ トビ クマクカ コゲラ カワガラス ミソサザイ ツグミ エナガ コガラ ヒガラ ゴジュウカラ キバシリ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アトリ マヒワ ハシボソガラス ハシブトガラス(20種) 小春日と11月の奥日光としては異常に暖かかった。そのせいか鳥は少なかったが、それでもマヒワの小群とカワガラス、2羽のキバシリが全員見られたことで、結果としてはまずまず。日光市からイロハ坂にかけての紅葉も楽しめた。(中島康夫)

連絡中長

玉県環境生活部自然保護課野生生物係 (TEL 048-830-3154)

●カワウのアンケート調査

本誌8月号の本欄で、6月21日(土)～22日(日)吾妻支部担当で開催された関東ブロック会議に参加した様子をご報告しました。その席で協議された事項のひとつが、関東全域でのカワウの調査についてでした。

ブロック会議の後、提案支部である栃木県支部と本部研究センター(塚本洋三所長)が調査方法を検討した結果、第一歩として、関東地区だけではなく、全国的な調査による実態把握が必要であると考えられ、先ず、『野鳥』誌12月号で、カワウに関する全国的なアンケート調査を実施することになりました。

より多くのデータを集めて、カワウの問題解決に役立てたいと思います。ご協力をお願いします。

●会員の著書とカレンダー販売

先月号の本欄で、浦和市在住の会員・佐藤信治さんの著書、『庭にきた虫ーいのちのドラマを親子でみる』(社団法人農山漁村文化協会発行)をご紹介したところ、何人かから購入方法の問い合わせがありましたので、支部事業部として若干数を仕入れる事にしました。主に浦和市三室地区の定例探鳥会で販売します。

98年カレンダーは各地の探鳥会などで好評発売中です。売り切れ後の追加仕入れの予定はありません。早めにお求めください。

●野生の生きもの写真コンクール

主催:埼玉県

応募資格:県内在住または通勤通学者

テーマ:県内で撮影された野生生物の生態

鳥類・哺乳類・昆虫・植物・その他(魚類・両生類・爬虫類)

規格:未発表作品。4つ切りプリントの裏に

被写体名、撮影日時・場所、撮影者住所・

氏名・年齢・職業・電話番号明記。

募集期間:12月1日～平成10年1月30日

送付及び問合せ:〒336 浦和市高砂3-15-1 埼

●県自然学習センター冬のイベント

12月23日(火)初心者のためのバードウォッチング、1月18日(日)親子たごり教室とバードウォッチング、1月24日(土)里山を守ろうPART3、2月15日(日)バードウォッチング中級編、12月13日(土)～3月14日(土)野遊び教室(4回)ほか。

申込み方法など問合せは、TEL 0485-93-2891、〒364 北本市荒井5-200、同センター。

●12月の事務局 土曜と日曜の予定

13日(土)1月号編集会議。研究部会議。

20日(土)1月号校正。

21日(日)役員会議。

29日(土)袋づめの会。

●会員数は

11月4日現在2,939人です。

活動報告

10月4日(土)普及部会議。

10月11日(土)研究部会議。11月号編集。

10月18日(土)と19日(日)校正作業(海老原美夫、喜多峻次、喜多彌生、桜庭勇)。

10月19日(日)役員会議(司会:玉井正晴、各部の報告・あさひカード探鳥会依頼への対応・里山シンポジウム参加者・浦和市立郷土博物館特別展への協力・1月～5月連休までの行事予定・その他)。

10月27日(月)11月号郵便局から発送(事務局)。

編集後記

小春日和の日、勤め先で通勤路清掃を行った。最寄り駅から住宅地や雑木林、田圃の道である。落葉、空き缶、果ては車のバッテリーまでである。昔は落葉にサツマイモを入れ焚火を囲んだ。近頃はダイオキシン発生の心配から、焚火もままならない。(小荷田行男)

『しらこぼと』1997年12月号(第164号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用